

5-3 災害対策・BCP検討WG

1. 主な活動の記録

- (1) 災害対応 WG 並びに災害対策・BCP 検討 WG の開催

- a) 委員会開催回数：令和 6 年 7 月 4 日（1 回）
b) 演習：令和 6 年 9 月 2 日

- (2) 災害時対応演習の実施

令和 6 年度の災害時対応演習は、中国支部管内で大規模地震が発生したことを想定し、災害対策本部、災害対策中国現地本部及び中国支部以外の各支部の災害対策支部の設置に基づく連絡・伝達網の確認を行った。

なお、令和 6 年度は、前年度と同様に、本部と各支部とを Web 会議システムにて接続し、演習を行うことができた。

- (3) 演習の主要目的

演習の主眼は、以下に示す連絡・伝達網及びその機能のチェックとした。

- a) 災害対策本部及び災害対策現地本部並びに災害対策支部との連絡・伝達網が正常に機能できるか否かを検討する。
b) 支部と会員各社との連絡網が正常に機能できるか否かを検討する。
c) 会員会社はできるだけ同時に各社ごと演習を行い、その成果を検証する。
d) 本部、現地本部、リエゾン、9 支部において Web 会議システムを用いた連絡確認を実施する。

- (4) 災害時対応演習実施状況

平成 11 年度より継続実施している防災演習の想定災害発生地域の最近の実施地域は表 1 のとおりである。

令和 6 年度の災害時対応演習の特徴としては、災害対策本部、災害対策現地本部、リエゾン、9 災害対策支部を Web 会議システムにて同時接続し、できるだけ臨場感をもってリアルタイムに情報連絡を行うとともに、主要な事項についてメール送信・受信を行った。また、災害時連絡フローを携行することにより連絡・対応の流

れを確認した。

表 1 想定災害発生支部

年 度	想定災害発生支部
令和 4 年	九州支部
令和 5 年	北海道支部
令和 6 年	中国支部

- (5) 災害時対応演習の問題点と改善策

演習後の各支部からの実施報告から以下のような課題や改善点が明らかになった。

- a) 問題点

メールアドレス登録の手違い及び本部 PC 設定・メールソフトの遅れ及び準備不足

- b) 改善策

①会員 HP にあるアドレスの更新・改良（個人アドレスに転送など）・周知する。

②災害時対応演習ではメール送受信のリハーサルを行う。

③どの地域（支部）で災害が発生しても迅速にメール受送信ができるよう事前に災害対応用メールアドレスグループを作成しておく。

（災害対策●●現地本部用といったメールアドレスグループを本部と各支部で作成しておく）。メールアドレスグループは随時メンテナンスを行う。

- (6) 災害対策本部及び災害対応 WG 設置

令和 6 年能登半島地震に対する災害対策本部及び災害対応 WG（令和 6 年 1 月 11 日 10 時）を令和 7 年 3 月 24 日 13 時に解散した。

2. 次年度の活動について

令和 7 年度も同様の目的で災害時対応演習を実施する予定である。

（災害対策・BCP検討WGWG長 天野 光歩）